

2015-16年度 国際ロータリーテーマ

世界へのプレゼントになろう

RI 会長 K. R. “ラビ” ラビンドラン

9月は基本的教育と識字率向上月間  
ロータリーの友月間です。

国際ロータリー 第2580地区  
2015-16年度 ガバナー 鈴木 喬



Be a gift to the world

思いやり (奉仕) の心を持って  
地域に貢献

東京武蔵村山ロータリークラブテーマ  
第44代クラブ会長 宮崎 茂夫

本日の例会

比留間 孝司 米山奨学委員会委員

< 米山奨学 >

第2100回

例会

2015. 9. 30

次回例会案内 【10月7日(水)】

全員クラブ協議会

第2099回例会報告

(2015年9月16日)

司会 原田 友義 SAA (会場運営委員長)

## 点 鐘

(宮崎 茂夫 会長)

## 出席報告

(小林 邦雄 会場運営委員)

## 齊 唱

奉仕の理想  
ソングリーダー (松村 慎一 会員)

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
33名	24名	86.67%	89.66%→93.10%

## 来客紹介

(宮崎 茂夫 会長)

- 竹内 <sup>ひでかず</sup> 栄一 様  
(東京消防庁 北多摩西部消防署長・卓話講師)
- 田中 <sup>まさひろ</sup> 正浩 様 (警防課 地域防災係長)
- 熊谷 <sup>くまがい えいき</sup> 栄輝 様 ( // )

- 事前メーキャップ  
藤野 豊 会員 (櫻井会)  
野島 征 会員 (青少年奉仕委員会)
- メーキャップ 第2097回  
比留間 一義 会員 (東村山RC)
- 出席免除会員  
栗原 高明 会員 桑原 伸之 会員  
榎本 昭 会員



## 会務報告

(宮崎 茂夫 会長)

- コーディネーターニュース 9月号  
「ロータリー広報実績の集積について」が  
届いています。
- 韓国 第3650地区プロジェクトの紹介  
(協力依頼)
- 第2回職業奉仕セミナー開催案内  
・11月24日(火) 14:30 登録受付  
「渋沢栄一の今日的役割を考える」  
～職業奉仕と論語の理念～  
・ハイアットリージェンシー東京 B1
- ハイライトよねやま 186号が届いています。
- 社会奉仕活動アンケートが届いています。  
〆切 10月9日(金)

## 委員会報告

- プログラム委員会 波多野 晃夫 委員長  
今後のスケジュールについて確定したものを  
ご報告致します。  
来週の例会は国民の祝日の為、休会になりま  
す。  
9/30の例会は10月の米山月間を先取りする形  
で地区の米山奨学委員会委員であります当ク  
ラブの比留間孝司会員に卓話をお願いしてあ  
ります。  
10/14の例会に於きましては藤野勝武蔵村山市  
長に武蔵村山市の町づくりについての卓話を  
お願いして参りましたのでご報告しておきま  
す。
- ホームページ立ち上げ委員会  
内野 均 委員長  
ホームページの立ち上げについて明日(9/17)  
に第一回の会議を行います。  
宮崎茂夫会長、倉内淳幹事、比留間孝司情報  
委員会委員長、田中伸彦情報委員会(広報)副委  
員長、以上5名でここ西武信用金庫で行います。
- 第2580地区 親睦ゴルフ大会 実行委員会  
田中 伸彦 実行委員長  
地区ゴルフ決勝大会の炉辺会を9/17(木)  
18:30から村山の五色さんで行いますので実  
行委員の方は出席を宜しく願います。

## 幹事報告

(倉内 淳 幹事)

- 報告はありませんでした。



## < 地域防災力の向上 >

東京消防庁 北多摩西部消防署長  
竹内 栄一 様

みなさんこんにちは。本日はお招きいただきまして誠にありがとうございます。宮崎隊長様からご依頼がありまして、以前消防団長もやられていたと云う事で、我々もお世話になっていると云う事で恩返しが出来ればと思い、この様な機会に巡り合う事が出来ました。本当に感謝しております。

地域防災力の向上について話をさせていただきます。

今、あなたの住む町東京で大地震が発生したら・・・地震への備えは万全ですか？

今年は阪神淡路大震災から20年目の節目の年で、その地震により死者6497人の大切な命を奪われてしまいました。人は忘れやすい生き物ではございますが、アメリカの学者の研究に聞いた事は10%しか覚えていない、見た事は15%、聞いて見た事は20%経験した事は80%、教えた時は90%覚えていると云う段階になっていると云う事です。経験する事が大切です。

東日本大震災から4年半が経ちましたが、マグニチュード9.0で最大震度は7と云う凄じい地震でありました。遠く離れた東京でも建物損壊や火災、鉄道の運行停止、帰宅困難者の滞留、道路の大渋滞などの大混乱があり、その後も電力不足による計画停電、放射性物質拡散への懸念等が起きました。地震により発生した火災・けが人を救うため消防車や救急車も大渋滞により思う様な救助活動を行う事が出来ない状況でした。

阪神地域は地震が起きない地域と云われていた為に備えが無く、また直下型の地震により局地的に強い揺れが起き、被害も大きくなりました。これにより、多くの教訓を残してくれました。この教訓とは自助・共助の重要性、震災関連死、孤独死、仮設住宅・復興住宅、要配慮者対策等が生まれました。

日本は災害が多く起こる国であります。今までの災害に加え猛暑による熱中症で運ばれる人が今年1万人を超え、東京都では101名の死者が出てしまいました。治安は大変良い訳ですが、災害は大変多い国になっており、今後30年で首都直下型地震の発生が心配され、向こう30年で70%の確率で発生するだろうと云われています。もし起こった時の予想被害は、東京湾北部地震では死者9641人、多摩直下地震では4732人と云う数字になっています。武蔵村山市では、死者48名、負傷者412名、火災6件、自力脱出不能者が116名に予想されています。

その日に備えての自助・共助の心が大事になってきます。自分の命は自分で守るという自助、自分達の町は自分達で守るという共助の理念のもと自ら震災に備える必要があります。

阪神淡路大震災で生き埋めや閉じ込められて、自力で脱出出来なかった人数は35000人いらっしゃいました。その中で家族や隣人に助けられた数は27000人、救助隊に助けられた数は8000人になります。この数字からも自助の大切さが分かると思います。また初期消火も51%が住民により行われました。

今、そこにある命を救うために！発災初期に救助活動や消火活動が実施された背景には、自分達の町は自分達で守ると云う意識を持って地域の人々が協力し合い災害に立ち向かった結果です。その意識を醸成する為には、普段から顔の見える関係が必要であり、実際の災害に立ち向かう為には、防災訓練を重ねる事が必要なのでは是非とも訓練等に参加して頂き、顔が見える関係を作って下さい。



発災前の備えも自助になります。まずは、防災行動力を高めしておく！事で、日頃から防災訓練に参加して初期消火・救出・心急救護・避難要領などを身につけておく事になります。また、家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておく！テーターのには6割しか実施されていません。非常用品を備えておく！家族で話し合っておく！以上が発生前の対策になります。

発生後の自助・・・自分の命を守る為にどうすればよいのか？まずは身の安全・・・丈夫なテーブルの下や物が落ちてこない・倒れてこない・移動してこない空間に身を寄せる。落ち着いて火の元確認・初期消火。あわてた行動はけがの元、窓や戸を開け出口を確保、門や塀には近づかない、またその後、確かめ合おう我が家の安全・隣の安否、非難の前に安全確認 電気・ガス。

発災前の共助とは地域の為に必要なものを備える事で共同の備蓄品は何が必要か・安否の確認はどうするかを事前にどの様なツールを使うかが大切になってきます。また、防災訓練の実施やスタンドパイプ等の用意が必要になり、普段からの地域での活動や連携が防災活動にとって重要です。

地震後の共助・・・隣近所の安否確認 火の元始末の呼びかけ 協力して救出救護 初期消火

公助・・・行政が市民を守る事も忘れて下さい。  
発災前 防災指導・防災教育・広報・地震に強いまちづくり等  
発災後 情報収集伝達・被害情報の把握・避難所運営等

※災害の被害を最小限に抑える為には自助・共助・公助それぞれが連携する事が重要です。

避難所は過酷な環境！・・・地震発生後、自宅に住めなくなった時や安全の確保が必要な時、身を寄せる場所。住み慣れた家を離れ、突然、他人との共同生活が始まります。不便で慣れない生活は、心身の健康を害する原因になり震災の最初の一撃を免れても、この避難所生活で体調を崩す人が増えてしまうのが現状です。

震災関連死とは？・・・地震により直接死亡するものではなく間接的な原因による死亡の事です。長引く避難所生活で体調を崩した事による死亡や持病の悪化・ストレス等・将来に絶望した自殺等が該当します。東日本大震災時には3194人 阪神淡路大震災時には921人が該当します。

各自の備えが関連死を防ぐ・・・阪神淡路大震災では、最大で31万人の人が避難所で過ごしました。首都圏直下地震では、290万人が避難所に行くと考えられます。備蓄等の各自の備えが関連死を防ぐ事に繋がります。

最後に東京都より防災ブックを9月から各世帯に配布を始めます。消防署では、この防災ブックの解説を行っていますので是非とも多くの市民の方々の参加をお待ちしていますので、宜しくお願いします。ご清聴ありがとうございました。

### ～ 会長お礼 ～

大変素晴らしいお話をありがとうございました。いつ何時、この地に災害が起ころうとも今日の卓話を伺って災害に対しての備えは十二分にやるべきだと思えました。人のセリフですがいつやるの？と云ったら今でしょ！と、こういうことになりますね。本日は所長並びに消防署の皆様、ありがとうございました。



### ニコニコBOX (松村 慎一 親睦委員)

☆宮崎茂夫会長・倉内淳幹事⇒東京消防庁北多摩西部消防署より、署長の竹内栄一様、地域防災係長田中正浩様、熊谷英輝様、本日は卓話にお越し下さり、ありがとうございます。「地域防災力の向上」のお話し、よろしくおねがいします。

☆比留間孝司会員⇒市役所での無料相談会の担当のため早退します。すみません。

◆ 今回計5,000円 累計 359,000円

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日  
◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ  
◎ 会長 宮崎茂夫 ◎ 幹事 倉内淳  
○ 副会長 内野均 ○ 副幹事 嶋田 哲男  
□ クラブ会報委員長 後藤 正次 副委員長 新海 正人  
委員 嶋田 哲男 比留間重次 木内敬三九 網代稔

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店 2階  
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1  
◇ 例会日 毎週水曜日 12:30～13:30  
◇ クラブ事務局  
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1  
TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252  
Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp